

葉の花

伊豆の国市立長岡北小学校
Tel 055-948-1062
学校だより 27/11/09 40号

平成27年度学校教育目標
重点目標

「心ゆたかに たくましく」
「めあてに向かって 挑戦する子」



11月朝会

11月2日に朝会が行われました。いつものように歌声集会、校長先生の話がありました。
校長先生の話を紹介します。



私は10月に新幹線に乗って何回か静岡に出張にいきました。朝三島駅は結構込んでいます。新幹線が到着し中に乗り込むと、3つ座席があるところで、こんな人がいました。皆さん、どう思いますか。席がなかったので、私は、「すみません。この席あいていますか。」と端の席を指さすと、その人は、何も言わずにバックを反対の座席に移したので、私は端っこの席に座ることができましたが、何となく不愉快でした。朝の込んでいる新幹線の車内で、一人で3つの座席を使っているのは、周りの人に対する思いやりがないと思ったからです。

少しすると、私の前の席に座った人が、私にこう言いました。「リクライニングを少し倒してもいいですか。」私は「はい、どうぞ」と答えました。その人はゆっくりとシートを倒しました。私は、今度は気持ちよくなりました。前の座席の人は、シートを倒すことに嫌な思いをしないように、声をかけ、私に気を遣ってくれたのです。たった一声ですが、相手の人が「自分のことを考えてくれている」と思うこととて、お互いがよい気分になれるのです。

北小学校では「江間しぐさ」をやっています。実は、今話をしたことが「江間しぐさ」の一つなのです。みんながお互いに毎日気持ちよく生活するにはどうしたらいいのか。



今回の歌声リーダーは3年生



とてもきれいな歌声でした！

それは、周りにいる人の気持ちになって行動することです。

この間、4年生の社会科見学の時、リバーサイド公園でご飯を食べ終わって遊ぶ時間がありました。4年生はロープの張ってある遊具を揺らしながら遊んでいました。そこに幼稚園くらいの男の子が母親とともにロープに乗って遊び始めました。すると4年生の一人が「小さい子が遊んでいるから揺らしちゃだめ」と声をかけ、みんなは揺らすのをやめ、静かに遊ぶことにしました。私は、感心しました。江間しぐさの「人のことを思いやる心」が北小の子どもに生きているんだと。北小のみんなが、周りの人のことを考えるようになれば、北小学校はもっともっといい学校になるし、ここにいるみんなも楽しく生活できますね。

江戸しぐさ

校長先生の話にもあった「江戸しぐさ」ですが、前任の校長先生が「江戸しぐさ」にならない、北小学校にも採り入れたい行動をまとめてくださったものです。

では、その「江戸しぐさ」とはどんなものでしょうか。

「江戸しぐさ」は、今風に言えば江戸町民の「公衆マナー」であり、かつ「コミュニケーション能力・技術」とでも言うべきものです。

「江戸っ子」といわれていた町民が狭い江戸の町で使っていた世間との付き合い方や他人とのかかわり方などの行動全般を言います。

この江戸しぐさの土台には、日本人が昔から大切にしている「相手を思いやる心」があります。それを行動にしたものといえます。

例えば江戸しぐさの一つに、「うかつあやまり」というのがあります。

うかつ（迂闊）とは、注意がたりなかつたり、うっかりしてたりすることをいいます。例えば足を踏まれたとき、踏んだほうが「ごめんなさい」と謝るのは当たり前ですが、この時、踏まれたほうも「いやいや、私がうっかりしていたからです」と、謝るのです。

この場合、足を踏んだ側の人間は「たいへんなことをしてしまった」と申し訳ない気持ちで一杯のはずです。

このような相手の失敗を「何しているんだ」と、せめるのではなく、「私も注意が足りませんでした」と謝ることにより、踏んだ人間の心の負担は軽くなり、その場が和みます。今、公共広告機構でも、こんなコマーシャルをやっていますね。

このようにどの江戸しぐさも、「相手を思いやる心」に裏付けされています。

こんな「江戸しぐさ」を基礎に作られている「江戸しぐさ」を子どもたちが意識してくれれば、校長先生の言うとおりの、もっともっと良い学校になっていくと思います。いつも、心のどこかに「江戸しぐさ」をおいて生活していけることを願っています。

伊豆の国市立長岡北小学校

江戸しぐさ

やさしく 心配りの できる手に

あやまり

- **輪ちから** みんなで助け合い 素晴らしい力を生みだそう
- **やさしさりレー** やさしさのバトンを 手から手へわたそう
- **ピカいち** 進んで小さなしんせつを見つけて 実行しよう

言葉

- **うれし言葉** 相手がうれしくなる言葉を 心がけて使おう
- **ありがトーク** いつもありがとうの言葉(気持ち)を 持とう
- **すなお礼** すなおな気持ちで 心からお礼を言おう

あいさつ

- **あいサイン** あいさつは目を見て おじきもわずれずに
- **うなづきアイ** 話を聞くときは 相手を見ながらうなづいて
- **笑がおはよう** 笑がおでおはようを言おう

時間

- **守りタイム** いつも自分で 時間を確かめて行動しよう
- **先ゆずり** 「お先にどうぞ」と ゆずりあう気持ちを大切にしよう
- **気くぼろうか** ろう下は静かに右がわを走らずに

「江戸しぐさ」は、そのときと場合によっても「通じしやないやりのがらみ」を子どもたちにとってほしい」という願いから、江戸しぐさ」が生まれました。 守るであやまく（ムー）としてあつたが、ムールを守る行動から、それが次第にしくさとして自然に身につけていってほしいというのが願いです。

学校・家庭・地域で いつでも・どこでも・だれにでも